

## tRNAHis グアニル基転移酵素

Cat. No. EXWM-3291

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** 真核生物では、tRNAHis分子の5'-末端に転写後に追加のグアニン残基が加えられます。この追加は、普遍的に保存されたアデノシン73の位置で行われるため、テンプレートを使用しない3'-5'追加反応の結果です。追加のグアニン残基は、EC 6.1.1.21、ヒスチジル-tRNAリガーゼによるアミノアシル化の重要な決定因子です。この酵素は、活性のために二価カチオンを必要とします。基質が5'-トリフォスフェート (ppp-tRNAHis) を含む場合、ATPの活性化は必要ありません。

**別名** ヒスチジンtRNAグアニル基転移酵素; Thg1p (あいまい) ; Thg1 (あいまい)

### 製品情報

**形態** 液体または凍結乾燥粉末

**EC番号** EC 2.7.7.79

**反応**  $p\text{-tRNAHis} + \text{ATP} + \text{GTP} = \text{pppGp-tRNAHis} + \text{AMP} + \text{二リン酸 (全体反応)}$ ; (1a)  $p\text{-tRNAHis} + \text{ATP} = \text{App-tRNAHis} + \text{二リン酸}$ ; (1b)  $\text{App-tRNAHis} + \text{GTP} = \text{pppGp-tRNAHis} + \text{AMP}$

**備考** このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

### 保管・発送情報

**保存方法** 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。